

■ 3月定例会の日程

《2月》

24日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、
予算大綱説明、議案説明など〕
予算審査特別委員会

29日 本会議〔一般質問〕

《3月》

2日 本会議〔一般質問〕

3日 本会議〔一般質問〕

4日 総務委員会

7日 経済委員会

8日 文教委員会

10日 予算審査特別委員会

11日 予算審査特別委員会

14日 予算審査特別委員会

15日 予算審査特別委員会

22日 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、
討論、採決など〕

「ダー」という方がいるので、その方を中心に依頼先までの距離等を勘案し、スピーディーな対応がとれるように検討している。

● 衛生費

胃がんリスク検査

問 個別がん検診事業の中で新たに実施する胃がんリスク検査の内容を伺う。

答 胃がんの発症にはピロリ菌の感染と胃粘膜の萎縮が大きく関係しているが、40歳以上の5歳刻みの年齢の方を対象として、血液検査でピロリ菌への感染と萎縮性胃炎の有無を検査し、胃がんの危険度を分類する。

この検査により、ピロリ菌の除菌治療や胃の定期的な検査につなげていき、胃がんの発症リスクを低下させる。

● 商工費

外国人誘客事業

問 事業の内容は。

答 国のビジット・ジャパン事業の一つの地方連携事業への100万円の負担金が主なものとなっている。地方連携事業は、蒲郡市、浜松市、郡上市、岡崎市、中部国際空港が連携し、親日国のタイをターゲットとして、メディアの招へい、広域観光情報を掲載したバ

ンフレットの作成、旅行博への出展、ウェブサイトでの情報発信等のPRを通じて、誘客数の増加を図ることを予定している。

● 土木費

海のまちづくり推進事業

問 海フェスタ東三河の概要と蒲郡市独自の関わり方はどうなっているのか。

答 東三河の地域力を高めるとともに、海、川、港についての魅力を次の世代につなげ、多彩で豊かな地域資源として東三河の魅力を全国に発信する。

市は事業費の1・9%にあたる200万円を負担金として拠出し、各市におけるイベントとしては、海フェスタ東三河実行委員会にて検討しており、蒲郡市独自のイベントとして決まっているものはない。

● 消防費

消防団運営事業

問 消防団員確保に向けて28年度はどのような取り組みをするのか。

答 消防団員募集の年齢を20歳以上としているのは現

在県内でも豊橋市、知多市、蒲郡市の3市のみであり、今後年齢を18歳以上に引き下げる必要があると考える。また、機能別団員制度については、東三河では蒲郡市だけが設けていない。ただ、現実として他市の機能別団員がどのように機能するか不明なため、今後の検討課題としたい。

● 教育費

給食施設維持管理事業

問 アレルギー室改修工事の内容について伺う。

答 夏休み期間中の7月30日から8月19日にかけて、ポイラー更新工事にあわせ卵アレルギー調理室の改修工事を行う。

問 専任の調理員を増やすということだが、今までの人員では足りなかったのか。

答 専任の調理員がいらないと、調理過程で食材が交差しアレルギーが発症しかねない。

除去食の調理は専任で行い、通常給食と接触しないように改めて人員を雇うことになる。

○ 水道事業会計

年度末給水栓数は、3万2866栓、1日平均給水量2万6027m³を予定しており、収益的収支は2億600万円の黒字予算です。

○ 病院事業会計

1日平均入院患者数を260人、外来は730人と見込み、収益的収支は6億7460万円の赤字予算です。収益的収入と資本的収入で合計12億5千万円をモーターボート競走事業会計から繰り入れます。

○ モーターボート競走事業会計

年間192日の開催を予定しており、収益的収支は12億8840万円の黒字予算です。この会計から土地区画整理事業特別会計に2億8千万円、下水道事業特別会計に6億7千万円、病院事業会計に12億5千万円を支出します。

条例の制定・改正・廃止

● 人事評価制度の導入に関する条例の制定

(第1号議案)

地方公務員法施行により、人事評価制度の導入が義務